

第30回 北海道通園センター連絡協議会研修会 開催要項

1. 目的 地域で療育に関わる方々が、互いの知識・技術の交流と研修を行なうとともに、関係機関同士の情報交換や親睦を深めることを通して、北海道の障害児通所支援及び障害児相談支援の充実と向上を目指すことを目的とする。
2. 開催日程 令和5年7月7日（金）～ 8日（土）
3. 会場 北海道大学 学术交流会館 （札幌市北区北8条西5丁目8-1）
4. 主催 北海道通園センター連絡協議会
5. 後援（依頼中） 北海道 北海道市長会 北海道町村会
北海道社会福祉協議会 北海道乳幼児療育研究会
全国発達支援通園事業連絡協議会
6. 研修テーマ 「 ライフステージを意識したアセスメントから支援への実際
～ 地域で暮らす子どもたちを支える手だてを考える ～ 」

7. 日程

1日目

12:00～	13:00～ 13:30	13:35～ 13:50	14:00～ 15:00	15:15～ 17:15
受付	総会	開会式	基調報告	シンポジウム

2日目

9:30～	10:00～ 12:00	12:00～
受付	記念講演	閉会式

8. 内容

(1) 総会 進行 事務局

(2) 開会式

主催者挨拶 北海道通園センター連絡協議会会長

来賓挨拶 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

(3) 基調報告

演題：「市町村（中核）子ども発達支援センター事業について」

講師： 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 係長 岩山 晋也

(4) シンポジウム

演 題：「療育とは ～これからの支援者に伝えたいこと～」
講 師：社会福祉法人慧誠会児童部門統括所長 藤原 敦美 氏
：元 恵庭市子ども発達支援センター長 水口 克幸 氏
：NPO法人障がい児・者地域サポートふれあい 理事長 佐々木 浩治 氏
：江別市子ども発達支援センター長 谷藤 弘知 氏

(5) 記念講演

演 題： 「診察場面から支援へ ～子ども・家族の見立てと発達の支援の展開～」
講 師： 医療法人社団同行会 うらかわエマオ診療所 理事長 八十川 真里子 氏
要 旨： 八十川先生が運営されているクリニックや児童発達支援事業・放課後等デイサービスとの連携を含め、先生が普段の診察場面で大切にされていることや、子ども・家族の見立てを通し、年齢・発達段階に応じてどのようなことが支援の選択肢となるのか、また家族支援として行われている取り組みについて、本人・家族の障がい受容について等、多岐にわたりお話し頂きます。

(6) 閉 会 式

主催者挨拶 北海道通園センター連絡協議会 副会長

9. 参加申し込み

定 員：200名
参加費：通園センター連絡協議会 会員施設 1名 2,000円
非会員施設 1名 3,000円
(記念講演のみ参加されたい方は、1,000円にて入場可能です)
*参加費のお支払いは当日受付でお願いいたします。

申し込み方法： 通園センター連絡協議会ホームページの研修会参加申し込みフォームからお申し込みください。(6月5日公開予定)
申し込み締め切り：令和5年6月23日(金)

10. その他

弁当の取り扱いは行ないません。